

Google Workspace for Education

独自性レポートによる、不正のない提出物作成の支援チェックリスト

Google Workspace for Education の有償エディション ([Education Standard](#)、[Teaching and Learning Upgrade](#)、[Education Plus](#)) は、教育向けにカスタマイズされたエンタープライズ級のツールを備えており、革新的な学習環境の実現に役立ちます。ここでは、独自性レポートにより不正のない提出物が作成されるようにするための対策をご紹介します。

Google Workspace for Education のご検討は初めてですか？

エキスパートが詳しくご案内しますので、[こちら](#)からお問い合わせください。

Google Workspace 管理者の方には、独自性レポートを有効にするために以下のような基本的対策を行っていただくことをおすすめいたします。

- [Google Classroom ユーザーガイド](#)を確認する
- [独自性レポートの作成の仕組み](#)を理解する
- [独自性レポートとプライバシー](#)に関するよくある質問
- 教師向けのリソース: [独自性レポートを有効にする](#)
- 生徒向けのリソース: [独自性レポートの作成方法](#)
- 教師向けのリソース: [独自性レポートの確認方法](#)
- 管理者向けのリソース: [「校内での一致」機能を有効にする](#)